

令和2年6月30日

志木市文化財保護審議会会長様

志木市教育委員会

教育長 柚木博

大小合併門樋の保存について（諮問）

このことについて、志木市文化財保護条例第5条の規定により、下記の文化財の保存について諮問いたします。

記

1 大小合併門樋の保存について

(1) 保存理由 別紙のとおり

(2) 保存方法 別紙のとおり

大小合併門樋の保存について

一般国道254号和光富士見バイパス工事にあたり、大小合併門樋の現状の保存が困難なため、早急な記録保存と、部材を保存し、将来的に下流側(吐出し口側)の面壁と翼壁の一部の復元を行いたい。

1 一般国道254号和光富士見バイパス工事と大小合併門樋

大小合併門樋と排水路の高さが合わず、また、必要な排水量を確保できないため、一般国道254号和光富士見バイパス工事にあたって、排水路の機能補償として、ボックスカルバートの設置による排水路の整備が予定されており、大小合併門樋は撤去される予定。

2 大小合併門樋を保存しようとする理由(文化財としての価値)

(1) 水害の多かった宗岡の歴史を理解するうえで貴重

水害が多く、惣囲堤に囲まれた宗岡では、樋門は、大変重要な建造物であり、宗岡の歴史を理解するうえで貴重な文化財である。

(2) 近代化遺産として貴重

明治31年建設。樋門の意匠も類例の少ないもので、県補助金に係る文書から、設計内容も分かり、近代の土木遺産として貴重。入間郡に建設された第1号の煉瓦樋門でもある。煉瓦の積み方は一般的なイギリス積みだが、翼壁天端下の一段は、長手を縦に積む変則積みで、現存する変則積みのアーチ型の樋門では県内唯一である(箱型のもは数例ある)。デンティル(歯状装飾)の施された樋門は、県内に現存するのは他には2例(川越市笹原門樋、春日部市五箇門樋)のみ。

土木学会による『日本の近代土木遺産(改訂版)－現存する重要な土木構造物2800選』では、籠嶋門樋、北美塚樋とともに市指定文化財クラスと評価されている。

3 保存策について

(1) 記録保存

樋門としては破壊されてしまうため、全体について記録として、三次元測量と写真撮影を行う。また、下流側(吐出し口側)の面壁と翼壁の一部を復元できるように記録が必要。9月には工事準備に入るため、早急な対応が必要。

(2) 部材の保管・将来的に復元

下流側面壁と翼壁の一部を、復元可能な方法で切り出し(県対応)、総合福祉センター駐車場等に保管。将来的に復元する。